

やる一ンセミナーⅣ 参加者ふりかえり

- ・ 自分、PTA、そして家族への良い土産ができました。志を持って能動的に活動できる子ども達に、そして大人になれるよう、我々のやるべきこと、やれることのヒントをいただいた様に思います。「教育の力を待つ」この言葉は重みがあり、心に残るものでありました。

県P連評議員

- ・ 参加したという印象が強い研修会となりました。PPJの方々が参加してくれたおかげで、とっても意味のある会になったと思います。ありがとうございました。

県P連評議員

- ・ 最初会場に入ったときはチョット異様な感じもしたのですが、今はとても楽しかった感じと快い疲労感で一杯です。こんな様々な立場の方の考え、意見を聞くことができ、良かったです。小岩先生、手島先生の話はとても参考になり、又考えさせられました。今日の成果をいかに自分の現場にフィードバックできるか、やってみたいですね。子どもの声をいかに聞き出すか、それにどう関わるか、大人の責任は大きいですね。

県P連評議員

- ・ 今日学・地・Pの三者の話し合いとなって、学びが大きかったです。時間がなくて、実際の行動目標まで具体的には作れませんでした。ヒントはいっぱいいただきました。ワークショップで深めていきたいです。

- ・ 本日は研修会に参加させていただき、ありがとうございました。手島先生と出会って話を伺ったことも財産になりましたが、同じグループの方々と同じ課題でたくさん話し合いができたことがとても良かったです。学校の存在の意義、本当に切実に考えている方々、貴重な意見でした。秋田から参加された大学の先生の話も心に残りました。現場で生かせるよう工夫していきたいです。

教員

- ・ 1日 知の人と出会えて良かった。ネットワーク → パッチワーク ワークショップの本質かな。聖籠中に行ってみたくです。建物にこめるメッセージをヒトがどうつなげてゆくのか。ヒトの仕事が昔はつながっていたのに、現代はつながりづらいのは、当事者の意識がないから。あるいはヴァーチャル化されているから。その世界に抗していくのが教育だと思う。教育の可能性は無限である。教育の力を信じて精進していきたい。

PPJ

- ・ 三度目の参加ですが、今回は私にとってまさに「目からウロコ」の得ることが多いものでした。まず第一に「学びフェスト」の正しい意味を理解したこと。学校の目標のみならず「家庭・保護者の目線」も含んだものであることでした。第二には、手島さんの教育に対する広い目、熱い思い、その価値観の豊かさです。「学びとは変わること、いかにアクションを起こすか」「第4の世界から子どもを取り戻す」「パッチワーク」等々です。同時にこれまでの自分の考え方が誤っていないことも再確認することができました。本当にありがとうございました。

教員

- ・ 学校・PTA・地域の方々が一緒に「いわて型コミュニティ・スクール」や協働ということについて、子育てについて、共に考え学べたことは大変意義深かったです。聖籠の手島さんのお話もとてもよい刺激になりました。ありがとうございました。

P P J

- ・ 保護者・地域（企業）・学校のワークショップで、地域（企業）と学校との関わりについて（重要性・現状の希薄さ）、初めて気づかせていただいた。手島さんの講話では、あらためて学校と地域のつながりの大切さを感じることができました。

県P連評議員

- ・ 多様な価値観の違う平成時代の中で、社会教育の視点から、子どもは親を選べない、子どもは大人の姿を見えています。思考、行動、個性を伸ばす手法、地域づくり、学校づくり。社会に通用する子どものサポート役として、手島さんのお話は大変学ぶ点大でした。

P P J

- ・ ご講演、ワークショップを通じて、いろいろな視点に気づかされました。理念と志を具体化するノウハウを学ぶ必要があると思いました。何でも具体的に動くこと。まずは来やすい学校、声をかけやすい学校、のためにできることを行動していこうと思います。オープンであること、笑顔でヘルプと言うこと、すぐできることを一人ずつ心がけていくだけで、少しずつ良い方へ向いていくことと思います。大人が心を開けば、仲良くしていれば、子ども達も同じようになってくれるのではないかと、思いました。ありがとうございました。

- ・ 学びフェストの理解が深まった。教育・学校づくり、地域の関わりの実例が分かった。他のPTA・学校の悩み、日常の事象が分かり、対応へのご苦勞を知った。

県P連評議員

- ・ 宮古から2時間かけて参加して本当に良かったです。学校でも地域でもさまざまな問題がありますが、その一つ一つをきちんと向き合い、一人で抱えることなく、皆で解決したいと思います。有難うございました。

県P連評議員

- ・ 初めて参加させて頂きました。かなりエネルギーを使った感じでしたが、とても実になったというか有意義に感じました。参加した！！という感じです。他の方の考えていることや思っていることをうかがうことができ、それが有意義に感じた理由かな。ステキな会でした。ありがとうございます。

教員

- ・ 義務的な思いを持って参加しましたが、参加してとても良かったと思います。とにかく手島先生の講演が面白かった。時間が足りなく、もっと聞きたかった。「子どもと共に、そして子どものために」というキーワードが心に残りました。子どもと共にという視点で、どう具体的に教育活動を展開するか、今後実践で頑張りたい。スタッフの皆様ご苦労様です。ありがとうございました。

教員

- ・ 子ども達の一人ひとりが大事、各関係との連携が大事、なことはもとより理解していても、実際どうすれば良いか考えるとき、その答えはズバリとは出てきません。総論ではある程度理解しているつもりです。改めて様々な各論があることを実感しました。このことを現場に活かすために、個々が何かをしていかなければならないのだろうと思います。やはりまず動くこと、実行することが大事だと感じております。

県P連評議員

- ・ いつもこういうセミナーがあると、その時はやる気に満ちて帰るのですが、実際地域や学校に戻ると思うようにいかないのが現実です。ジレンマを感じます。しかし！！誰かが（自分が！）小さな一歩を踏み出すことで少しずつ変わってゆくのだ！という信念を持って、これからも何かしらアクションを起こしていこうと思います。PPJの皆様、県教委の皆様、ありがとうございました。

県P連

- ・ 子どものために 誰もが願っている子どもの健やかな成長。この願いが共通のものであるならば、立場の違いは解消できるもの。お互いを見ながら願いの実現に向かっていきたい。ありがとうございました。

教員

- 教育については全くの素人であり、当初「場違いな場所に来てしまったなあ」と不安になりました。しかしながら、P P Jの皆様ならびにグループメンバーに助けて頂き、非常に有意義なワークショップとなりました。企業で仕事を続ける上でも、多くの人とコミュニケーションを取ることで、参考になることが多くありました。次回のワークショップも参加をしたいと考えています。よろしくお願いいたします。

会社員

- 初めて参加させていただきました。とても楽しく、そして充実した1日でした。参加して本当に良かったです。ありがとうございました。
- 内容が盛りだくさんで、参加して良かったと思っています。特に手島さんのお話をうかがえて良かったです。実践、そしてその背後にある想い、はもちろんです、それらを伝える言葉や資料の使い方も「学習」しました。ワークショップの後、再度手島さんにコメントをいただきました。また、ワークショップの方法についても、いろいろと「学習」させていただきました。手島さんのご意見、ワークショップの方法については、この後の懇親会で深められればと思います。準備等お疲れ様でした。諏訪さんの音楽、声かけが良かったです！ありがとうございました。
- どんな方々と知り合えるのかな、どんなお話が聞けるのかな、と楽しみにしていました。時間があればグループで解決策を話し合えたら良かったのが残念でした。小岩さん、手島さんのお話は熱くてうれしかったです。ありがとうございました。

P P J

- 意識改革はすぐにはできないものの、今日のワークショップ、手島さんの話等で変化していく様子わかりました。地域で、学校で、PTAで、話し合える場が必要と思いました。
- ～午後からの参加において～ 「子どもとともに、子どものために」・・・手島さんの長きに渡るたくさんの経験から、心に響く言葉を聞くことができた。「子どものために」の前に、「子どもとともに」。正に大切な視点でした。分科会の話し合いから・・・「そもそも学校とは何か?」「親と先生はパートナーになり得るのか」「先生方は本当に親の話を聞いて変わるのか」「先生方は自分をふりかえっているのか=授業を大切にしているのか」etc.親の本音につながる部分を聞くことができました。

教員

- ・ 学校、家庭、地域で子どもを支えるという考え方を、教育委員会・学校・PTA・町内会・・・様々な人々が声に出していくようにしていければ！！

P P J

- ・ とても勉強になりました。本音の話を最後のまとめの所で聞くことが出来、中身のある話し合いができたと思っております。パワーになります。小岩課長のお話、手島さんのお話、それぞれ心がこもっていて、今まで持っていた色々な諸問題に対しての解決の糸口を見つけることができました。今後の活動に生かしながら、自分だけではなく、周囲にも広げていきたいです。

県P連

- ・ 講話、ワークショップを通して感じたことは、全ての関係が連携をとれるようにするためには、まだまだ情報発信が不足しているということが一番感じました。どの部分においても良いことだけでなく、ヘルプも含めて、相手に伝えていくことが大切だと思います。子ども達を育てていくためには、家庭だけでもだめですし、学校だけでもだめ、地域も入り、一緒に同じ方向に向かっていくことが大切だと思います。子どもは地域の宝、お年寄りを守り神として、共に学校を家庭を支えながら、進めていければと思います。
- ・ 「もっとこうしたい」「こうできたらいいのにな」そんな思いを持った人達が沢山いるんだと実感させられた。手島先生の話はとてもよかった。学校とは心をみがくところ 努力するところ 認め合うところ また明日来たくなる場所 本当にそうありたいと思う。しかし「思う」だけでは変わらない。ネットワークからパッチワークへ、老人も変わる、が心に残った。子どもと共に、子どものために、仕事をしていきたい。今日はありがとうございました。
- ・ 本日は代理で出席しました。全く中身がわからず、講義形式で行われるのかと不安に思っていました。演習形式を取り入れてくださり、比較的時間が経過するのが早く感じられました。手島さんの講演は、ユーモアもあり、とても楽しく拝聴しました。しかし、この場での話し合いが、話し合いで終わる危惧も感じています。本当に学校を地域を子どもを変えたいと強く願うのであれば、実際に行動にうつす手だてが必要です。情報交換から行動への連携と進むことを願っています。本日はありがとうございました。
- ・ 様々な年齢、立場の方々と交流し合えたことは、大変有意義でした。手島さんの発想、実践、それを支える哲学に刺激を受けました。そこから生まれたキーワードを大切にしたいと思います。(例、「今日、行く」「パッチワーク」等) ありがとうございました。

県教委

- ・ 県教委のいわて型コミュニティ・スクールについてよく理解できました。手島さんの公民館活動の思いをもっと時間をかけてお聞きしたかったです。グループメンバーともっとゆっくり話をしたかったです。
- ・ 課題は多い。私に何ができるかという、とりあえず保護者の立場で、学校という場でできる子どもを通しての保護者や先生方、地域の方々とのつながりを多様で太いものにしておくことが大切なのだと感じる。保護者はいずれ地域の一員となる。学校で作ったつながりを大切に、地域の関わりに生かすこと。そして地域から学校を支援していくという形で進んでいきたい。仕事として、教育行政に関わっている。学校と地域を良い形でつなぐコーディネート役となれるよう努力していきたい。
- ・ いわて型コミュニティ・スクールでは、各学校で様々な取り組みをしているんだと改めて感じた。当、鳥越小学校でも教師と一緒にウニ採り体験、さけの新巻作り体験に取り組んでいます。後継者づくり、保存食づくりとして親子、地域と一緒に活動しています。又、研修会に参加させて頂き、久しぶりに皆さんとコミュニケーションを図り、一つのものを作る作業をして楽しかったし、思い出に残りました。手島さんの講演も共感を持った所もありました。本日の研修会の内容は、学校にも必ず伝えたいと考えております。ご苦労様でした。
- ・ 「いわて型コミュニティ・スクール」について説明させていただく機会をいただき、感謝いたします。様々な立場の方々の様々なお考えを聞くことができ、とてもありがたく思っております。今日の様なゆるやかな連携（無理のない自然な）が、岩手の中でもっと広がっていけばよいと思います。

県教委

- ・ 岩手県教委のプランである「いわて型コミ」を持続可能にすることが求められる。今日は少数派であるが、ワークショップの発表を聞いて動きそうだと感じた。そのためにも県教委からだけの発信だけでなく、このような集いの継続を。
- ・ いわてコミュニティ・スクール：岩手の広い郷土の中で、それぞれの地域の伝統と文化を大切にしながら、子ども達の未来のために、今できることは何か（地域で）、を考えさせられた一日でした。岩手の良さ、それぞれの地域の良さを伝え、郷土に誇りを！20年ぶりに会えた方、お世話いただいた方々にお会いできる機会となりました。ありがとうございました。

教員

- 様々な立場の人が集まり、多くの考えや意見が聞けました。普段仕事をしている中では、ゆったりと考えることも難しく（本来は考えなければいけないのですが）、「いわて型～」 「手島先生の講演」は、両方とも大変有意義でした。特に手島先生の志、熱意は素晴らしく、地域を、まちをも動かされていたと思います。PPJ、県教委の皆様、準備等本当にお疲れ様でした。申し込みの際に遅れたにもかかわらず参加させていただき、ありがとうございます。
- お疲れ様でした。研修（教育系）は受講するの久しぶりでした。手島さんにお会いでき、よかったです。
- 今日は突然にやってきて。。申し訳ございませんでした。そして、ありがとうございました。本当につたないFT（ファシグラ）で、、反省ばかりですが、グループの皆さんにたくさん助けていただき、終えることができました。本当にありがとうございました。また少し、子どもたち、学校に関わってみたくなりました。ありがとうございました。

PPJ

- 子ども達を育てるための課題は何となくであっても分かったと思います。今日感じたこと、学んだこと、皆さんと共有したことをこれからの活動に役立てたいと思います。スタッフの方々お疲れ様でした。ありがとうございました。

県P連評議員

- 宮古支援センターのことも少し興味がありました。HP見えます。心から言葉を発信し、心で受けとめることが、親も 子どもも 先生も 地域も 大事かなと感じました。ありがとうございました。
- いわて型コミュニティ・スクールの構想は良いと思います。実際にどのようなことをすれば良いのか考えてしまいます。教振との関わりは？「子どもといっしょに、子どものために」覚えて帰ります。
- 初めて参加いたしました。普段気にかかっていた事を同じ班になられたメンバーの方と一緒に話し、考えることができたことは、大きな収穫となりました。今日は参加して本当によかったです。手島先生のお話も非常に興味深いものでした。本気で子供たちのことを考え、実践されている方がいるというのは救いです。私たちもそうでなければいけないと思います。子供は「宝」ですから。「未来を作る」のですから。

- A：手島さんのお話は心に響くものがあり、聞き入りました。B：w sは消化不良だったと思う。C：「いわて型コミュニティ・スクール」の説明はセミナーにマッチしていない。

P P J

- 学ぶことは子どもだけでなく、おとなにとっても楽しいと感じた。いくつになっても社会の中のひとりとして学びつづけ、変化しているという実感はその人を支えるもの。地域の老人を活用し、おとなをまきこみ、子どもとともにコミュニケーション能力をあげていくことは、地域の成熟にもつながるのでは。機器からはなして（はなれて）人のつながりにひきもどすしかけは、やはり家庭の中の生活が基盤かな？たとえ一時機器にひっぱられても、乳幼児期に人とのつながりの心地よさを知っていれば戻れると思った。おとなも人間のつながりをもっと信頼し、聞いてもらうこと、はなすことの安心を思い出し、子どもの学びに関心をもてるように、「今日行く」ですね。子どもたちはいろんな大人とふれあう機会が貴重。これでもたのしくなんとか生きていけるんだ、と思える。

以上45名